

活動報告

団体名	ロハス南阿蘇たすけあい
活動名	被災者の経済的負担と心身ストレス軽減を目的とした片付けと家屋解体活動
活動期間	2016年6月～2017年2月
活動の成果	<p>被災者は震災によって先の見えない生活とこれからかかる経済的負担を危惧して、言動が悲観的になっていました。私たちは、被災者のストレスと経済的負担軽減を図るために今回の活動を始めました。</p> <p>①家財道具搬出は約80件②家屋の修繕は約100件③工作物の解体は約10件を完了しました。私たちの団体は被災者が中心になって活動を行っていることもあり、共に作業をすることを通して前向きな気持ちを育むことができました。</p> <p>今回の活動ニーズは非常に多く、現場が複数にわたることも多かったのですが、作業の特殊性ゆえにどうしても経験者や有資格者の安全管理が必須になり、作業が思うように進んでいかないときもありました。また震災の記憶は徐々に風化しており、メディアや公表される情報と、被災地の現状はどうしても開きがあります。スケジューリングと情報発信は今後の活動の課題であり、継続的に改善を図り、活動を最適化していきます。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たちは、2016年4月に発生した熊本地震の当日から活動を開始しました。震災当初はただただ困っている人同士で助け合わなければ、という思いだけでした。ですが時間の経過とともに、被害の甚大さに気づき、自分たちで昔の阿蘇を復旧したいと考えるようになりました。そうした考えを共有できる仲間が集まり、今の私たちの組織となりました。</p> <p>災害復旧には、一般ボランティアとテクニカルボランティア（重機や専門的な技術、危険作業を含む）を並行して行う必要があります。私たちは、テクニカルボランティアとして作業を展開しております。特に、災害初動時と災害からある程度時間が経過した時にテクニカルボランティアの需要は増えます。現在の南阿蘇では、テクニカルボランティアの需要も高く、テクニカルボランティア実施後に一般ボランティアに活動をはじめてもらうという流れが出来ております。今後もこの流れは継続する見通しで、ボランティアニーズもたくさんあることが予想されています。</p> <p>私たちにはボランティア団体運営の経験を持つものがおらず、ほとんど手探りの段階で運営を始めました。約1年間の活動が継続できたのも、多くの人のご支援とご理解を賜ったからこそそのものだと感じております。</p> <p>南阿蘇の復旧が落ち着いた際には、私たちを様々な形で支えて下さった方のためにも、必ずや全国に私たちのたすけあいの輪を広げられるように全国的な組織として活動をしていきます。</p> <p>南阿蘇村の復興はまだ遠く道半ばですが、皆様のご支援とご理解の程を宜しくお願い致します。</p>

(活動のようす)

